

新薬続々 副作用に注意

病院の実力「抗がん剤治療」

医療機関別の体制と2011年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名	がん薬物療法専門 医(人)	がん化学療法看護 認定看護師(人)	抗がん剤治療の入院 患者数(人)	抗がん剤治療の外来 患者数(人)	抗がん剤の治療への 参加数(件)
徳島大	4	1	715	586	14
国・四国がんセンター	7	3	1364	1166	91
愛媛県					
松山赤十字	2	2	407	686	0
市立宇和島	0	0	296	291	0
済生会今治	0	0	90	108	0
県立中央	0	2	—	442	0
香川大	4	2	393	540	8
香川労災	1	2	615	423	0
県立中央	2	1	586	445	0
高松赤十字	0	2	491	930	0
高知大	3	1	907	2261	4

※「セ」はセンター。「国・」は国立病院機構、「徳」は徳島、「高」は高知。

※全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。

病院の実力

徳島編58

抗がん剤治療

今回は「抗がん剤治療」を取り上げた。分子標的薬と呼ばれる新しいタイプの薬が次々と開発され、抗がん剤治療は日進月歩だ。がんの縮小や患者の延命が期待される一方で、毒性の強い薬が多く、副作用に十分注意する必要がある。がんの種類や患者の状態に合わせて、適切な薬を選ぶことが重要だ。表は、がん診療連携拠点病院と日本臨床腫瘍学会の認定研修施設に、病院の体制や治療実績などを聞いてまとめた。

抗がん剤治療は、医師、薬剤師、看護師らによるチームで行われる。「がん薬物療法専門医」は、経験と専門知識が豊富な抗がん剤治療のプロフェッショナル。「がん化学療法看護認定看護師」は、患者に最も身近な頼れる存在だ。抗がん剤治療は従来、入院治療が基本だったが、近年、がんのタイプによっては通院して外来で治療を行うケースが増えている。外来治療の患者数の多さは、力を入れているかどうかの一つの目安になる。

新しい抗がん剤を患者に投与して効果や副作用を調べる「治験」への参加の多い病院は、患者にとって治療の選択肢が多いだけでなく、高い病院と言える。

徳島大病院がん化学療法部門
丹黒 章・副病院長
三木幸代・看護師長に聞く



「患者の生活の質を保ちながら治療を」と話す丹黒副病院長(右)と三木看護師長(徳島大病院で)

患者の不安軽減へ連携

日本人の死因第1位のがん。生活の質(QOL)を維持しながら、治療したいという患者の要望は根強い。通院での抗がん剤治療専門の「外来化学療法室」を設けている徳島大病院が、がん化学療法部門長、丹黒章・副病院長と三木幸代・看護師長に最新の抗がん剤治療について聞いた。

患者が、日常生活を送りながら、通院で高度な治療を受けられるように、徳島大病院では2004年に、外来化学療法室を設けました。抗がん剤は効き目が期待できる一方で、副作用への細心の注意が求められます。患者の体力や体調に合わせて、薬の量を細かく管理しなければなりません。医師と看護師、薬剤師

が患者の情報を共有し、日々の治療方針を決めています。

患者は、自分と家族の将来、仕事、高額な医療費など様々な不安を抱えています。臨床心理士や管理栄養士、ソーシャルワーカーとも連携し、相談に乗っています。

ユニークな取り組みとして、早期化学療法を実施しています。抗がん剤の副作用の影響を調べるため、点滴を受ける前にその都度、採血をして、骨髄や肝臓などの機能の検査を受けなければなりません。結果が出るまでに約1時間かかります。午前8時30分の開院を1時間前倒ししています。早ければ、昼までに点滴が終わるので、患者にも好評です。

また、院内でがんの化学療法の専門認定コースを設け、看護師の技量アップに努めています。

当番医

4日

【徳島市】休日診療所(沖浜東2、ふれあい健康館1階、088・622・3576)▽休日歯科診療所(北田宮一、県歯科医師会館、088・6332・8511) 〓昼のみ【鳴門市】原田内科(大

「炊き込みご飯のシーズン」

石井町の笠輪千佐子さん

ります。大好きなマツタケ

は「京都での学生時代、付

コンニャクと食物繊維が豊

ます」。

が患者の情報を共有し、日

津町矢倉

51)「

中央病院

〓昼のみ

(那賀川

0022)

岸整形外科

83・25

赤池循環

美、088

馬市・美

町猪尻0

【三好市

(三野町

300)

科(石井

4・12

院(同町

0024)

(神山町

0013)

里医院(海

73・31

リニック

698・

◆ゴルフ

メンバー

島田守78

スト①武

患78、68

68・6

口博75

版社

経

社

版